

カキ養殖の継続に向けた支援を求める意見書

呉市を含む芸南地域は、栄養豊富な海域を有し、古くより良質なカキが安定して生産され、カキ養殖の生産量は全国トップクラスであり、地元の経済や雇用に大きく貢献する大切な産業となっている。令和6年度の広島県産カキの生産額は3年連続で200億円を超える、その中でも当該地域は主要な生産海域であり、質・量ともに評価は高く、流通や観光等を通して様々な経済利益や交流人口を生み出すなど地域ブランドとして確立している。

こうした中、当該地域では本年9月からカキの大量へい死が例を見ない規模で確認されており、その状況は瀬戸内海の広範囲に渡るなど、これは『激甚災害に匹敵するレベル』の被害が生じている。カキ生産者においては労力と投資、惜しみない努力を注いできたにもかかわらず、今シーズンの出荷は壊滅的で収入を得ることが出来ない状況にあり、これを起因とする資金面の逼迫により、事業継続の窮地に立たされている。また、漁業共済制度による共済金の支払いは来年の2月以降であり、当面の運転資金の確保も難しく、従業員への給料の支払いにも影響がでることにより、当該地域で雇用している従事者が離れていくことも懸念している。

さらに、このたびのへい死の原因が、温暖化による海水温の上昇や少雨による塩分濃度の上昇など想定されてはいるものの特定されていないことから、カキ生産者やその他の漁業関係者ならびに地域の不安を払拭できない要因となっている。そのため今後の養殖経営等に先行きが見えず、これまで必死に伝統を守り技術を高めてきた呉市を含む芸南地域のカキ養殖は衰退していくことも考えられるところである。

よって、本市も県等と連携し被害状況の把握や対策について、また支援対策について検討するが、国におかれでは、本市等のカキ養殖の事業継続に向けたあらゆる角度からの支援について、下記の措置を早期に講ずることを強く要望する。

記

- 1 カキ生産者の不安を取り除き、養殖事業の経営が安定するよう、早期に生産者負担の少ない補助金や交付金等の積極的な財政支援とそれに必要な予算を十分に確保すること。また、当面の運転資金不足による雇用の確保が困難なため、事業継続のための資金について速やかに財政支援すること。
- 2 次年度用のカキも死骸が目立ち、その影響が複数年に及ぶことも予測されるため、長期的な財政支援も視野に検討し、生産者が安心して事業を継続できるよう方策を講じること。
- 3 カキの大量へい死の原因を究明し、カキ生産者へ周知するとともに、被害の原因を解消する方策を講じ、カキ養殖の存続と安定供給に向けた対策を行うこと。
- 4 消費者や地元住民に不安を与えることがないよう、また瀬戸内エリア全体のカキが

悪いという風評被害が起きないよう関係機関と連携し、カキ養殖のPR推進を積極的に行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

呉市議会議長 中田光政

(提出先)

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
内閣官房長官
財務大臣
農林水産大臣
経済産業大臣
環境大臣